

11月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

74,708円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	18,060円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	9,452円
通信費(携帯電話代、折込代)	46,596円
支出計 10/11/1~10/11/30	74,708円
寄付	
Yさん、匿名さん	15,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
10/12/1

第114号

16000部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

市民ホール基本構想案!?

完成は当初より2年半遅れの2017年春に!?

(仮称)城下町の実施設設計完了から3年半、紆余曲折し、名前も市民ホールとなった基本構想案が、市民ホール建設準備会より市長に提出されました。

(仮称)城下町ホールとの機能の違いは、400㎡程度の展示系機能および創造系機能と支援系機能の追加です。以下に概要を示します。

■大ホール系機能

- 市民の芸術活動をはじめプロの上演に応えられる専門性を有する空間と機能をもつホールとする。
- 現市民会館大ホールのステージ形式を基本とし、可動音響反射板とオーケストラピットを設けることで演劇、ミュージカルから生音によるクラシック音楽まで可能な音響性能と舞台性能を持つ。
- 舞台機構、舞台照明、舞台音響などの設備は必要な性能は確保しながらもシンプルなものとし、維持運営のコストの低減を図る。

〈必要な機能例〉

1000席~1200席規模で音楽系と演劇系が機能的に高度に両立できる多目的ホール

ホワイエおよびこれに付属する楽屋、主催者控え室、リハーサル室等の諸室、母子鑑賞室、備品庫など

■小ホール系機能

- 舞台機構等の設備は規模と使用目的に適合した仕様とし、メンテナンスやオペレーションにかかるコストにも配慮した、できるだけシンプルで使いやすい仕様とする。
- 楽屋、倉庫など舞台周辺のバックヤード機能と空間を十分確保すること。

〈必要な機能例〉

200席~300席規模のホール

ホワイエおよびこれに付属する楽屋、主催者控え室、備品庫など

■展示系機能

- 展示品の鑑賞に適した照明や空間を備え、現市民会館で開催されている展示会や今後の企画展に対

応できるよう検討する。

- 展示室としての基本的機能に加えて、可動パネル等で小さく区切って使えるような工夫や多様に利用できる機能を検討する。
- 展示室の規模に応じた備品庫が必要である。
- 展示スペースにプラスして、周辺の会議室やオープンスペース、ホール系の施設も展示に対応できるような仕様を検討する。この場合、机や椅子などの備品を収納するスペースも必要

〈必要な機能例〉

多様な用途にも利用可能な400㎡程度の展示系スペース 絵画、書、写真、生け花などの展示のほか、展示以外の創作活動なども多用途に利用できる空間、付随する備品庫などの諸室

■創造系機能+支援系機能

【創造系機能】

〈必要な機能例〉

練習室、スタジオ、水場、会議室、大型楽器庫、外部倉庫など

【支援系機能】

〈必要な機能例〉

創造スタッフ室、サポーター室、企画室、託児室、授乳室、オープンラウンジなど

■完成予定が2年半延長されました。

2014年秋開館の予定が、用地取得や収収減により、2017年春に延長されました。

■市民ホール 必要ですか？

8月末で市民会館の耐震工事が完了しました。中の設備は、そのままですが建物としては耐震基準を満たしています。こうした市民会館やホールが公設なのは、運営が赤字になり収益事業として成り立たないからです。これまでの市民会館利用者数は年間約30万人、市民1人当たり年間1.5回利用の贅沢施設です。しかも大ホールの規模は現在と変わらないのであれば、**リニューアルで十分だ**と思いませんか？

議員年金廃止へ!?

議員年金については、議員の特権として思われているかもしれませんが制度の解説と経緯について説明します。

議会議員共済年金は、現職議員の掛け金と自治体の負担で運営しています。

平成の大合併により市町村合併が大規模かつ急速に進展したことに伴い、市区町村議員数が約4割減少する一方、年金受給者数が約2割増加し、**1人の議員が約3人の受給者を支える構造**となっています。(表1)

表1 団体数・議員数・受給者数の変化

市区町村	1998年度末	→	2009年度末
団体数	3255	1505減	1750
議員数	約60000	26000減	約34000
受給者数	約79000	12000増	約91000

その収支を改善するため、2002年及び2006年の2度にわたり、大幅な掛金の引上げと給付の引下げが行われたものの、市町村合併の影響はさらに大きく、

毎年多額の赤字が発生し、市・町村共済会の積立金は急激に減少しました。(表2)

表2 共済会の収支と積立金残高

市町村共済会	1998年度	2009年度	2011年度
収入	約504億円	約521億円	約489億円
支出	約518億円	約663億円	約678億円
積立金残高	約1913億円	約246億円	▲約92億円

このままでは、2011年度に共済会の積立金は枯渇し、年金・一時金の給付が不可能となります。

そこで議員年金廃止の方向が打ち出されました。国会審議を待たなければなりませんが、来年4月の統一地方選を超えてしまうと受給者数がさらに増えてしまうため今年度中に決定しなければなりません。

ちなみに私が掛けてきた共済掛金は**3期12年で、1024万円**にもなります。

現在の掛金は、年間108万円です。それが総務省案では、約576万円の給付(返金)で破たん処理をしようとしています。

国会議員共済廃止と同様に80%給付にしてもらいたいです、**廃止するなら今しかありません。**

The Voice これまでに頂いたご意見から

夜間雨天時の国府津駅ロータリーの改善を

国府津在住 40代 女性

国府津駅ロータリーは、雨天の夜間時にお迎えの車で、国道1号線まで渋滞しています。ロータリー東側のマンションにお住まいの方も渋滞中は、車で自宅に戻るのに相当時間がかかると聞いています。

私自身、お迎えで待っている際に、クラクションを鳴らされいやな思いもしています。そこで、歩道は少し狭くなりますが**道路をもう少し拡張し、停車した車の横を通れるように**するなどの改善はできないのでしょうか？ ぜひ安心して迎えに行くことができるロータリーにしてください。

西湘バイパスの無料化で、親木橋から国府津駅までの渋滞は、ほぼ解消されました。また、国府津駅前広場の改修でバスが一方通行となったことから、朝の通勤時間帯の駅前広場内の混雑もほぼ解消されています。

しかしながらご指摘の雨天夜間の国府津駅前広場は、お迎えの車で国道1号線まで溢れている状態です。朝、送るときは降ろすだけで停車時間は一瞬ですが、お迎えの際は、電車の到着時間に合わせ少し前から停車しているので数分の停車となります。雨天の場合は、通常駅まで自転車の方も車で送迎されるので駅前広場内に入る自家用車数自体が増えるのでなおさらです。道路の拡張の件を市に検討してもらったのですが、その場所に**車感センサーの鉄柱がある為その移設となると莫大なお金がかかる**ので難しいとのことでした。また駐輪場の活用もあるのですが、そのためには**数億円の用地を買い戻さなければならず**さらに厳しい状況です。

私は、朝送るときは国府津駅に、雨の夜に迎えに行くときは鴨宮駅に行っています。

月例勉強会のお知らせ

勉強会はどなたでも参加できます。自己紹介はさせていただきますが、勧誘等は一切行いません。

12月の勉強会は

日時：12/25(土)18時～19時

場所：市民学習フロア 学習室B 駅前ビルドラッグストア奥の1階で4階

テーマ：「**市民ホール基本構想案について**」

参加費：100円 終了後、実費で忘年会を行います。

i-mode HP →



HPは、**Yahoo!**で「たけまつただし」 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 大井町支店出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで
月刊武松は**本人が配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**